

うたいぼん

# 謡本を読んでみよう！

講師 能楽大倉流小鼓

ひさだ やすこ  
久田陽春子

謡 観世流シテ方

てらさわ こうすけ  
寺澤幸祐

能鑑賞がはじめての方向けの入門講座です。

能の台本を「謡本(うたいぼん)」といいます。

令和2年1月18日(土)に行われる第29回「若手能」大阪公演の演目「敦盛」を題材に、実際の演能の流れにそった解説を聞きながら、一部をみんなで声に出して読みます。

文語で書かれているために、聞き取りにくく難しいと思われがちな能を楽しく理解して、能鑑賞をより充実したものにしてみませんか。

◆日時 令和2(2020)年 1月12日(日)

14:00~16:30 (開場 13:30)

◆場所 大阪市立中央図書館 5F 中会議室

◆定員 60名(当日先着順) 入場無料

◆対象 どなたでも

・お問い合わせ・

大阪市立中央図書館 利用サービス担当

TEL 06-6539-3303

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2

OsakaMetro 千日前線・鶴見緑地線

「西長堀」下車7号出口すぐ

HP : <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>



## 講師プロフィール 久田陽春子（ひさだ やすこ）

能楽師 大倉流小鼓方(重要無形文化財総合指定保持者)

一般社団法人 日本能楽会会員

公益社団法人 能楽協会 正会員

1973年生まれ

大倉流 16世宗家 大倉源次郎および 父 大倉流小鼓方 久田舜一郎に師事。

- ・能「鞍馬天狗」子方、花見にて初舞台。
- ・1985年 大阪能楽養成会入会、卒業ののち能「乱」、「石橋」を抜く。
- ・2005年 能「道成寺」にて大阪舞台芸術新人賞を受賞。
- ・2010年 自主公演「幸祐・陽春子 能の会」にて、能「安宅」を抜く。

全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。

また、能楽の普及および伝統芸能である能楽を守り、後世に伝えていくための活動にも力を注いでいる。

夫 寺澤幸祐は観世流シテ方、叔父 久田勘鷗は観世流シテ方、長男（拓海）、長女（杏海）も修行のため各地の能舞台に出演中。

## 第29回「若手能」(※) 大阪公演の演目について

### 敦盛（あつもり）【観世流】

『平家物語』による世阿弥（ぜあみ）の作。

出家したかつての源氏の武将、熊谷直実（くまがいなおざね）(ワキ)は、一ノ谷で手にかけて平敦盛の菩提を弔うために再び一ノ谷を訪れる。熊谷が回想にふけていると、笛の音が聞こえ、草刈りの男たち（前シテ、ツレ三人）がやってくる。そのうちのひとり（前シテ）は笛の話をし、毎日毎夜あなたが弔う相手は私だと言って姿を消した。

熊谷が夜どおし菩提を弔っていると、敦盛の霊（後シテ）が現れて、平家の都落ち、一ノ谷での籠居のわびしさ、平家の衰勢を語り、最期を迎える前夜の遊宴のさまを想起し、舞を舞う。続いて、熊谷に討たれた戦闘の激しいありさまを述べる。熊谷の弔いを受けて現れているものの、最期の怨念で亡霊は熊谷に刀を振り上げるが、ふたたび心を変えて去って行く。

参考『能楽ハンドブック』ほか

### (※) 若手能とは

大阪・兵庫の40歳以下の若手能楽師が企画・運営し、行っている公演

主催 / (独)日本芸術文化振興会 国立能楽堂 協賛 / (公社)能楽協会 大阪支部

後援 / 大阪府 大阪府教育委員会 大阪市 大阪市教育委員会

### 関連図書展示

講座の内容に関連した図書展示を行っています。こちらもぜひご覧ください。

【タイトル】能の世界へご案内

【日時】：令和元年12月20日(金)から令和2年2月19日(水)

【場所】：中央図書館 地下1階芸術コーナー